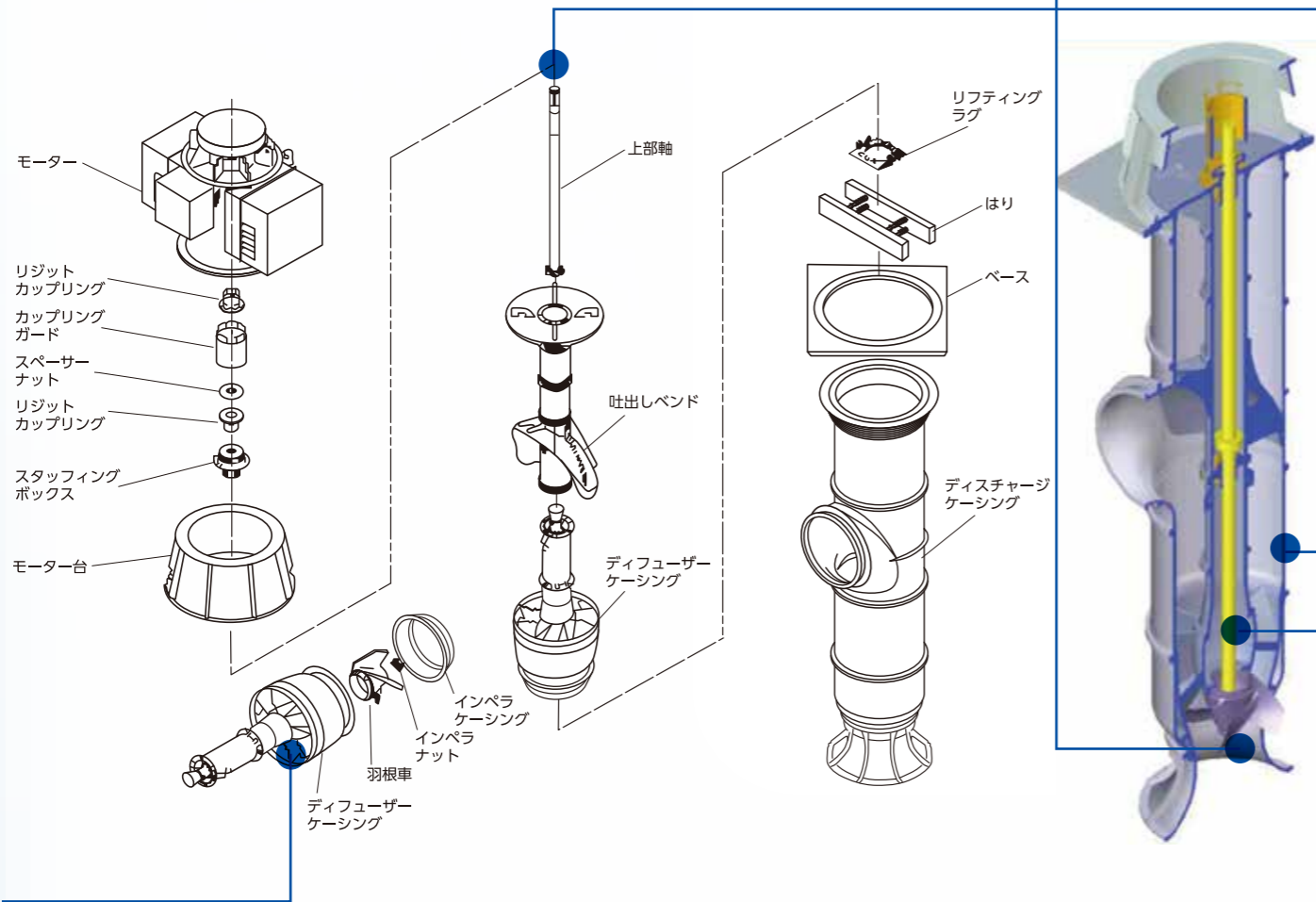


立軸海水ポンプのアフター改善メニュー 延命化&省エネ・環境

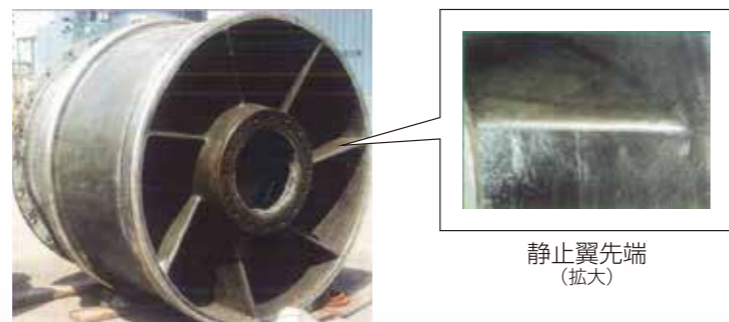
Case 1 主要部品の二相ステンレス化による長寿命と維持管理性向上

耐すきま腐食・孔食性に優れ強度の高いオーステナイトとフェライトの二相である二相ステンレス鋼にすることで耐食性を向上させます。



Case 2 FRPライニングによる 鋳鉄ケーシングの延命化

- 一般的なFRPに比べ
- *ガラスマット積層によるメンテナンス性改善 (塗装のような劣化がなく半永久的、補修容易)
- *耐スラリーエロージョン性良好



Case 3 表面硬化肉盛による インペラ翼面の延命化

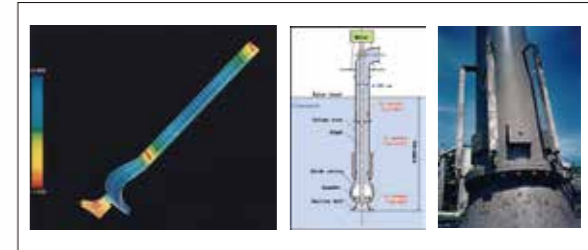
一層目に耐すきま腐食合金を、二層目に高硬度合金を盛金することで耐食性と耐壊食性が向上します。

■適用事例 二相ステンレス化 + 表面硬化肉盛



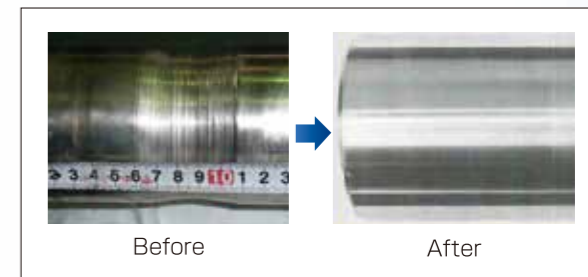
Case 4 防食解析と犠牲陽極設置による延命化

お客様のご希望されるポンプ維持管理周期に応じた陽極寿命設計について、防食解析によって最適化を提案します。



Case 5 耐食・耐摩耗肉盛によるパッキンスリーブの延命化

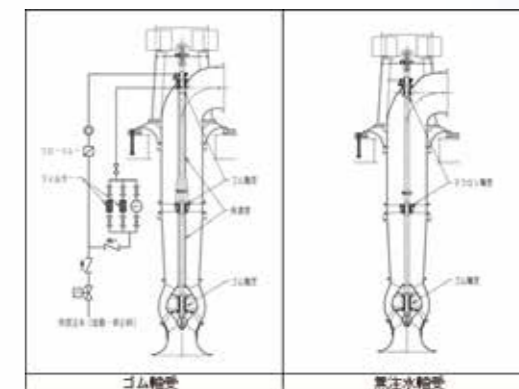
当社開発材料は硬質で耐食性が良い材料のため海水ポンプでの耐摩耗性向上に貢献します。



Case 6 水中軸受の無注水化によるメンテナンス性向上

ドライ運転が可能な新素材材料の軸受に交換することで起動時の注水設備が不要 (注水設備撤去による簡素化⇒運転費用削減)

■水中軸受注水設備まわりの比較



Case 7 ポンプ再生技術で他社製ポンプの問題も解決

- *3Dスキャナー装置で形状化し複製可(現場計測可)
- *欠損したハイドロ部品⇒当社流体解析技術で補間、性能改善も提案可能です。

